

みんゆう 隨想

満天の星空とは言えない
が今日も天気は良さそう。
素泊まりパーテイ^{わかれわかれ}がスター
トを始めた。我々は朝弁を
受け取り一足遅れて午前3
時半の出発となつた。ヘッ

ドライブを頼りに、小さな
アップダウンとトラバース
をひたすら登り、森林界を
越えて大聖寺平（静岡市）
を通過するころは、足下後
方に小屋の灯り、北西彼方かなた
には伊那盆地の街灯りが見
えた。

やがて東の空がうつすら
と明るくなりライトのスイ
ッチを切った。つづら折り
の石礫せきれきを登ると三千尺の肩
えた。

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング取締役会長

にでた。今度はなだかなら、いつしか感動と喜びの稜線歩きになり、ほどなく世界に溶け込んでいた。
く小赤石岳（長野・静岡県）に着いた。

が登山道付近でお散歩中。
近くで親が呼んでいるが、
警戒心は薄く外にもお連れ
がいるのだろう、突然子ど

左側に櫛島ロッジからの5個のおにぎり。一つは甘大倉尾根が迫力ある景観をい赤飯。無事に登頂したこ見せてる。南アルプスのとを祝い、疲れに気遣つた最奥地で登山者泣かせの赤小屋の朝弁の温かさに癒や石岳は目前となり、分岐かされ、残りは縦走途中で小

もの1羽が私の目の前を登
山ガイドさんのように歩き
始め、動物大好き人間には
堪らなく童心に帰った。

山に魅せられて (19)

ら20分で山頂に到着。憚刻みに食べる」とした。らず大声で「万歳!」。馬ノ背歩き、長い降りが

東はご来光と富士山、北 続き 岩場から森林界に入
は昨日の悪沢岳から北岳に り、百間洞山の家で休憩。
続く稜線。南には明日登頂 今夜の避難小屋泊まりに備
の聖岳から茶臼岳。西遠方 え沢の水を2㍑補給し午前
には竜飛カ レン三島向テ 9時0分に中盛丸山を目指

には扇状谷川と木曽駒ヶ岳から空木岳、伊那山と3
60度の大パノラマに魅了 小屋を出て約30分登つた
され、気力と体力の勝負か ところで、ライチョウ家族
には扇状谷川と木曽駒ヶ岳から空木岳、伊那山と3
60度の大パノラマに魅了 小屋を出て約30分登つた
され、気力と体力の勝負か ところで、ライチョウ家族

移続がいいが如何に。時間で兔岳に到着。今晚宿泊の兔岳避難小屋が眼下に見えてる。